

横尾議員 それでは、課題解決に向けての取り組み状況はについて質問をします。枳富町長就任後、課題解決に向けての所信表明をされました。枳富町政として1年半経過したところですが、それぞれ7項目の課題について伺います。①ごみ焼却施設の改築問題。②役場庁舎移転。③人口減少・少子化対策。④農林水産業、商工業の振興。⑤高齢者支援。⑥関係人口の増加。⑦南海トラフ巨大地震。以上の進捗状況は現在どうなっていますか。春以降のコロナ禍の中で、うまくいかない課題もあると思いますが、いまだに進捗していない課題については、解決に向けての予定や計画等をご提示願います。次に赤字解消対策についての質問です。本年3月議会で、「平成30年度は967万5千円の赤字、令和元年度も赤字の見込みであり、2年連続の赤字決算の見込みで、町財政が大変厳しい状況です。令和2年度は、さらに緊縮財政に努め事務事業や行事等の見直しも考え、超過勤務も少なくなるようにし、職員の体調管理にも心がけます。」と町行政報告の中で述べられています。そこで、今年度の赤字解消対策として、次の4項目について、どのような取り組みをしているのか伺います。①緊縮財政への具体的な中身。②事務事業・行事等の見直し。③超過勤務の実態。④職員の健康状態。以上、ご答弁願います。

一山議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 横尾議員ご質問の課題解決に向けての取り組み状況は、の①ごみ焼却施設の改築問題につきまして、ご答弁します。令和元年、第2回定例会の冒頭で申し上げましたとおり、3町長でも話し合いを続けています。また、令和元年9月6日に、海部郡衛生処理事務組合の全員協議会を、3町の町長、副町長、議会議長出席のもと、開催をしました。このことは、翌日の徳島新聞で、「ゴミ焼却施設3町長意見交換、海部衛生組合全員協、3町の立場を表明するにとどまり、議論は深まらなかった」と報じられています。皆様ご承知のとおりです。その全員協議会の中で、牟岐町議会議員の改選を受け「現在の議員さんが、他町移転を求める決議を、どのように考えているのか聞いてほしい」また、「3町の財政を考慮した議論が必要」等々、両町長から聞かれていましたが、1年経過した現在

も、議論は深まっていない状況です。これも、議員の皆様ご承知のとおりです。強調することは強調して、有利に議論を進めて行きたいと考えていましたが、海部郡を構成している、一つの町として、また議会として、責務を全うすべきであると考えています。以上、取り組みと申しますか、コロナ禍ということもあり、進んでいないような状況です。よろしくお願ひします。次に②役場庁舎移転への取り組みは。ですが、6月議会のご答弁と同様のものになりますので、どうぞよろしくお願ひします。③人口減少・少子化対策についてです。人口減少については、平成22年8月時点で人口が5,057人であったものが、10年後の令和2年8月時点では3,977人になり、1,080人、21.35%の減少になっています。10年前の平成22年8月から平成23年8月の1年間で、116人、2.29%減少しています。10年後の令和元年8月から令和2年8月の1年間では、86人、2.1%減少しており、減少率は10年前と比べて、やや下がったものの劇的な減少率の変化があったとは言えません。このような状況の中、牟岐町といたしましては、子育て世代への経済支援として、過去5年間で約267万円を65人に出産祝い金として支出しています。今後も出産祝い金については、制度の継続をしていきたいと思ひていまひて、今まで一人目3万円、二人目から5万円だったものが、今年度から一人目から5万円に増額支給になります。このことにつきまひては、令和2年3月当初議会で条例改正の議案を可決していただきましたので、皆さん、ご承知のことだと思ひます。また、この度の新型コロナ対応としまひて、子育て応援事業の給付金3万円を平成14年4月2日から令和2年5月1日生まれの子どもへ支給するなど、子育て世代への支援を実施しています。このことにつきまひても、今までに説明し、6月議会で可決していただきましたので、ご承知だと思ひます。また、同じく6月議会で可決していただきました、学生応援プロジェクト、手作りマスクの子ども達への配布、このことにつきまひても子育て世代への支援の一端を担わせていただいたのかなと感じています。次に④農林水産業、商工業の振興については、令和2年第1回定例会で申し上げましたように、第2期総合戦略に基づき重要事業、優先事業を主として取り組みを実施しています。農林水産品の販路開拓と新規商品拡大の取り組みでは、モチ麦を活用した新商品開発として、文理大との連携によりパンケーキミックスを制作しており、中華麺やパスタなどの開発に向けて現在取り組んでいるところです。また、実生ゆずはフランスへの輸出を予定してお

り、ふるさと納税の返礼品としての登録に向けて準備を進めています。林業の担い手育成の促進としましては、西又地区において炭窯を活用した体験イベントへの支援を実施しており、藻場の保全に向けては、種苗センターを活用してアラムの培養の実証事業を行っています。観光協会の体制強化の取り組みでは、観光協会に各種団体をつなげる役割を果たしていただき、地域が一体となった取り組みを行っていただくため各種業務の委託を行い、飲食店や観光関連事業者の広報活動に取り組んできています。今後はさらに町・商工会・観光協会で情報共有を行い、現状を理解し事業承継等の課題解決に向けて連携を強めていく必要があると考えています。⑤の高齢者支援です。令和元年度牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のために、アンケート調査及び地区座談会を実施したところ、牟岐町の1つの課題として、「買い物などの日常生活が不便」「買い物等の交通手段がない」などの移動手段への意見や要望がありました。高齢化の進行に伴い、買い物や通院時の移動手段に、困難を抱えている住民が多くなっています。高齢者の移動支援としまして、現在はタクシーの助成券を発行しています。また、座位が保てない方の町内移動、病院への通院ですが、外出支援サービス事業にて行っています。社協・緑風荘へ委託していますので、本人負担はありません。町内に8月、民間事業者の介護タクシーが事業を開始したようです。介護が必要な方の移動支援が民間ではありますが、増えたことは嬉しいことです。高齢者の買い物支援については、民間による移動販売や配達サービスに頼っています。移動販売や配達サービスなど、どのようなサービスがあるか知らない人も多いと思いますので、一覧などを作り広報することを考えています。移動手段の確保に向けては、引き続き、牟岐町地域公共交通会議で、協議、検討を行ってまいります。次に⑥関係人口の増加についてです。これまでもご説明させていただいていますが、関係人口の増加については、ふるさと会、牟岐人アプリ、関係人口拡大事業やHLABとの連携事業、キャリアサポート連携事業等の主な事業をはじめとする様々な事業に、産業課、教育委員会等も積極的に係わりながら、関係人口の増加に努めているところではありますが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、交流事業等の実施が延期や中止になり、思ったように事業の推進ができていないところではあります。ふるさと会においても、一同に会しての設立総会も実施ができない状況です。ふるさと応援パック、学生応援プロジェクトなども含めて会員の募集もさせていただいて、9月7日現在、188人の登録が

あります。牟岐人アプリについては、App StoreからiPhoneへダウンロードができる状況になるにはもう少し時間がかかりますが、Google PlayからAndroidへのダウンロードは可能になっており、本格始動までもう少しのところまで来ています。その他、大学生との交流事業や回帰ツアーなどの交流イベントについては、新型コロナに影響を受けて規模の縮小や延期などで、十分な成果が上がっていないのが現状です。日本全体が人口減少に転じた現在、人口を増やすことは容易ではありませんが、減少する人口をできるだけ抑えるという施策を継続的に実施していきたいと思います。次に⑦南海トラフ巨大地震の取り組みについてお答えします。昨年度の主な取り組みとしましては、議員ご承知のとおり、津波避難計画、避難マップの更新をしました。また、町民体育館東側に備蓄倉庫を設置しています。今年度は地域防災計画の更新、簡易トイレ用便袋の購入、サンライン入口に備蓄倉庫の設置及び古牟岐地区の避難路の整備を計画しています。また、国土調査、地籍調査を推進し、災害復興に不可欠なため、津波浸水想定区域での未着手区域の解消をしていきます。また、これまでのように、木造住宅耐震化促進事業の推進では、申し込みいただいた方の耐震診断、耐震改修、ブロック塀除却等進めていきたいと考えています。空き家対策総合支援事業の推進では、除却を進めていきたいと思います。次に赤字解消対策の①緊縮財政への具体的な中身についてお答えします。普通会計の決算では、実質単年度収支が平成30年度は、約1千万円、令和元年度は、約8千万円の赤字となっています。公債費比率、起債制限比率、経常収支比率など、前年度より増えています。可能な限り歳出を少なくすることで赤字を削減する緊縮財政に努めています。具体的には需用費、旅費、役務費、委託料などの経常的経費の見直しを行っています。また、平成15年度決算辺りから十数年に亘り監査委員の意見書にあるように、大口補助金事業先に対し、決算報告書を詳細にわたり分析し、積立金等内部保留がある場合、思い切った大幅な減額等の措置をとり、現況にあわない補助事業先に対しては全額カットし、各イベント補助に関しても同様に厳しく対処する必要があるとのご指摘をいただいています。令和元年度決算の意見書では、毎年指摘しているが、いまだ実行されていないという大変厳しいご指摘をいただいていますので、そのように対処しなければならないと考えています。次に②事務事業・行事の見直しについてですが、先の樫谷議員への答弁と同様となりますので、よろしくお願ひします。③超過勤務の実態、④職

員の健康状態については、総務課長からご答弁させていただきますので、よろしくをお願いします。以上です。

一山議長 宮内総務課長。

(宮内総務課長 登壇)

宮内総務課長 私の方から横尾議員の「赤字解消対策は」の質問のうち③超過勤務の実態、それから、④職員の健康状態について、お答えします。まず、超過勤務の実態についてですが、過去3年間の超過勤務手当支給総額は、平成29年度は、1,987万308円、平成30年度は、1,784万4,826円、令和元年度は、1,659万7,053円となっており、支給総額は年々減少しています。時間数についても、1人当たりの1年間の時間外勤務時間の平均は、平成29年度156時間、平成30年度137時間、令和元年度123時間と年々減少してきています。減少した主な要因は、事務の効率化と適正な人員配置によるものと考えられます。次に職員の健康状態について、お答えします。毎年度、職員の健康診断を行うとともに、市町村共済の助成事業で人間ドック受診を特に勧奨しています。受診状況、検診結果のデータ管理は、保健師が管理し、保健指導を徹底して行うとともに結果説明会や個別指導、病院への受診勧奨など継続して行っており、病院で受診すべき人に関しては、何度もアプローチし、適切な受診へとつながるよう指導しています。メンタルヘルス対策としては、毎年ストレスチェックを行い、ハイリスク者に対しては、産業医との面談を勧めています。必要があれば、休養また人員配置等も含めて対処することとしています。限られた人員で、効率的に仕事をこなしていくために、心身の健康管理は、非常に重要と思われます。今後とも職員の健康状態を十分把握し、保健指導を含め適切に心身の健康を図って行きたいと考えています。私からは以上です。よろしくをお願いします。

一山議長 横尾議員。

横尾議員 答弁ありがとうございます。課題解決に向けての取り組み状況につ

いてですが、役場庁舎移転については、前回の定例議会でも質問しましたが、予算もないということで進んでいない。しかし、移転候補地の選定も決まっていな
いということで、こういうところの課題解決に向けては、住民たちと話をして前
向きな、せめて候補地がどこに決まっていな状況の中で、そういうことの話し
合いは、予算はかからないので進めていくべきだと考えます。また、人口減少、
これは平均して、年々約2%の人口減ということですが、少子化対策は、子育て
世代に対しては十分な手当、コロナについても手当がついている状況とお聞き
しましたが、人口減少を埋める一案としては、また、移住定住の施策があると思
いますが、この移住定住の今の現在の移住者についての人数の把握等、また、教
えてほしいと思うのと、赤字解消対策について、具体的な中身もおっしゃって
いただきましたが、平成30年度1千万円、元年度8千万円赤字ということですが、
今年度、半年経った今、今年度の赤字については、解消できる見込みなのか、ま
た、どのぐらいの赤字になるのかというところがわかれば教えていただきたい
と思います。以上、2つ再問お願いします

一山議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 横尾議員の再問にお答えします。役場庁舎の移転の候補地というこ
とですが、建設する予算がないということもあります。緊急防災減災事業債、
これの延長が決まれば取り組みたいというふうに答えと思っています。また、候
補地につきましても、第一、第二と2つの候補地が決まっていますので、ある程
度の緊急防災減災事業債の延長になるのだろうなという見込みができてきた時
点で進めていきたいと考えていますので、今後のご指導、ご協力、どうぞよろし
くお願いします。

一山議長 宮内総務課長。

(宮内総務課長 登壇)

宮内総務課長 横尾議員の再問のうち、今年度の財政状況なのですが、まず現時点で9月なので、年間、まだ半分も経っていないので、確たることは言えないのですが、今年は、例えばの話、コロナのお金もあって、一般財源で使うような分を今期に充てたりした部分もあるので、財政状況は去年よりは今年の方が赤字は少ないのかなという考えはしています。ただ、次の年、経済が冷え込んでいるので、税収とかが減ってくるのかなという心配はしています。以上です。

一山議長 横尾議員。

横尾議員 赤字解消については、答えにくい質問に答えていただきまして、ありがとうございます。今年は特にコロナ禍で全然経済が落ち込んでいるということが、全くそのとおりでありました、これで終息が見えない中、先が見えないということもありまして、とても舵取りが難しい年になるかと思いますが、頑張つて職員、我々議会も含めて一丸となって努めていきたいと考えていますので、我々も協力して杵富町長、舵取りをよろしくお願いしたいと思います。以上で私の質問を終わります。